

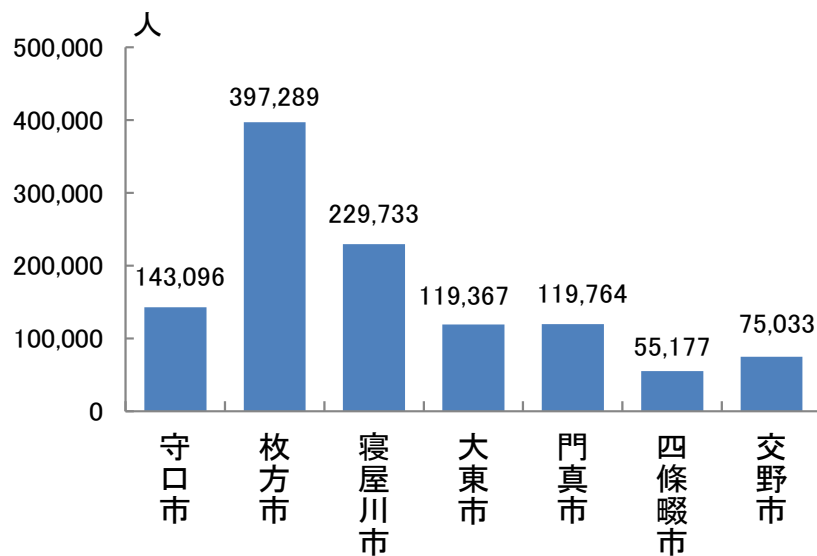
北河内二次医療圏内の医療体制の現状

1. 地域の概況

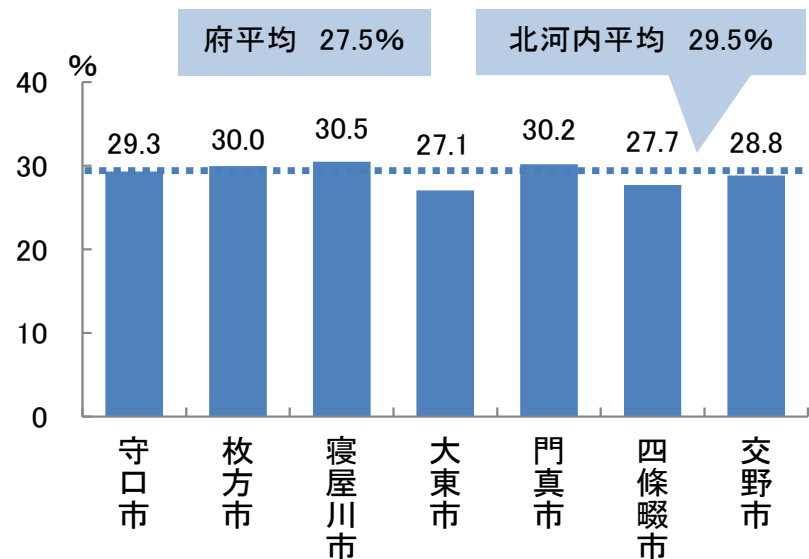
(1) 人口等の状況

○北河内二次医療圏は、7市から構成されており、総人口は1,139,459人となっています。
また、高齢化率が一番高いのは寝屋川市(30.5%)であり、一番低いのは大東市(27.1%)となっています。

図表 10-3-1 市町村別人口(令和2年)



図表 10-3-2 市町村別高齢化率(令和2年)

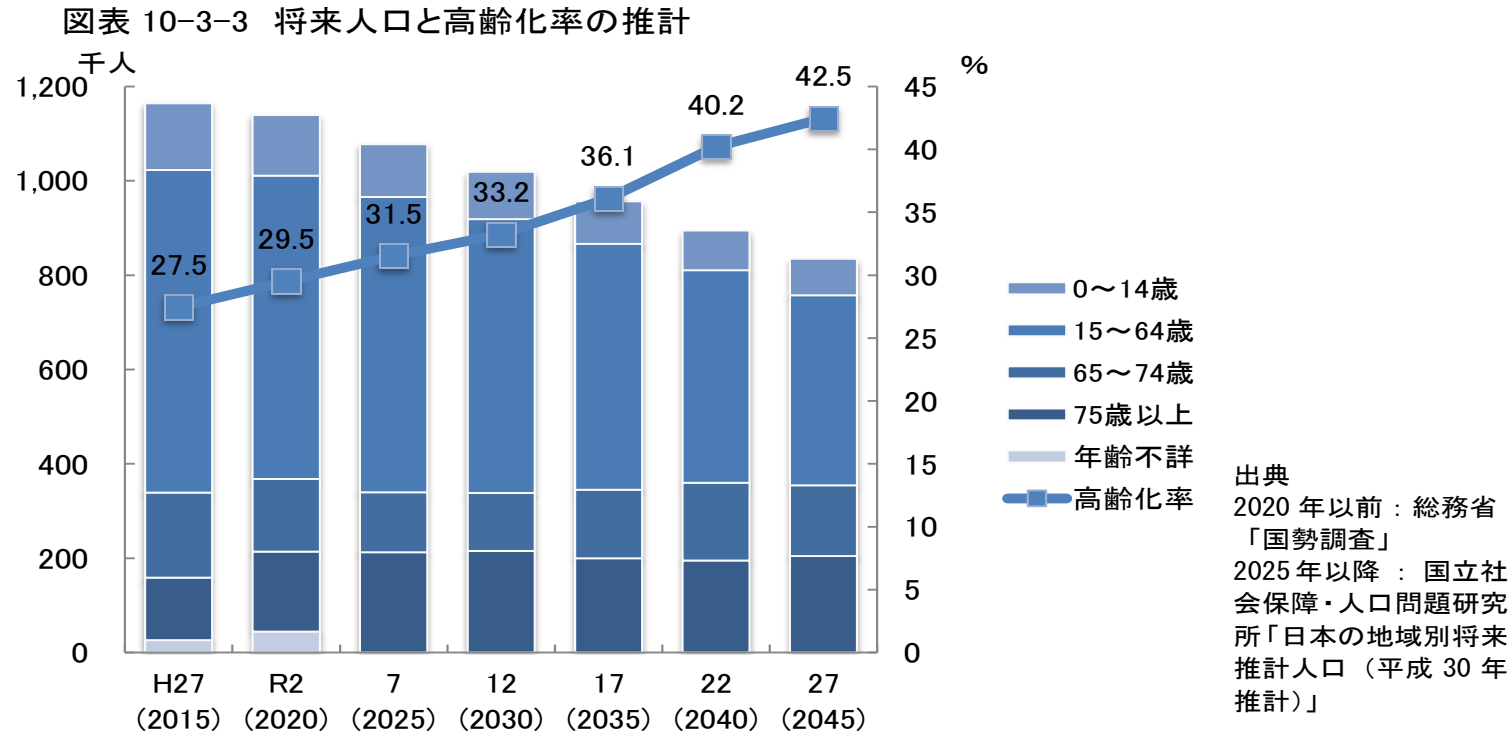


出典 総務省「国勢調査」

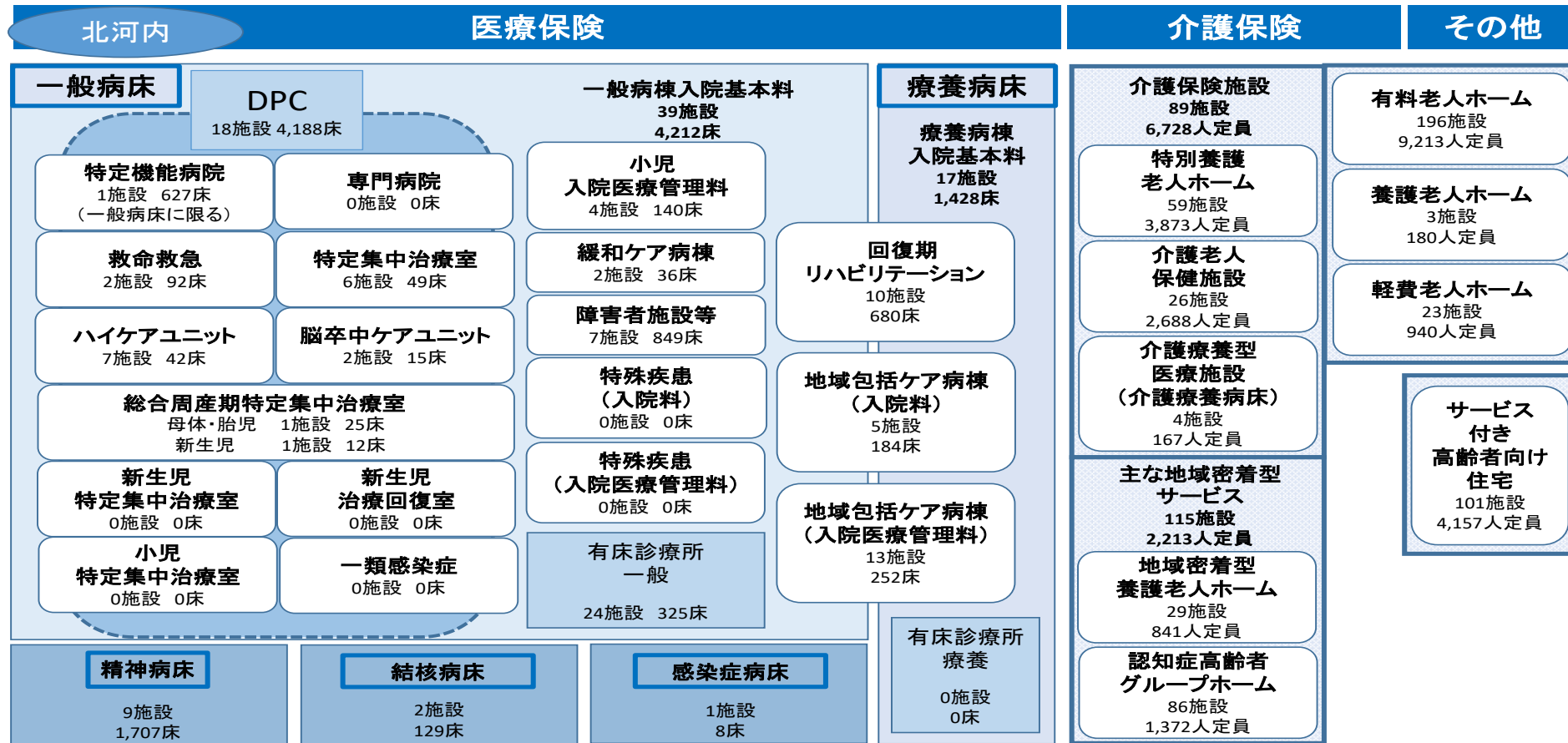
(2) 将来人口推計

○人口は2015年をピークに減少傾向であると推計されています。

○高齢化率は2015年の27.5%から2045年には42.5%に上昇すると推計されています。



図表 10-3-5 診療報酬における機能に応じた病床の分類と介護施設等の状況



出典 ・「医療保険」：令和4年度病床機能報告（令和4年7月1日時点）ただし、精神病床・結核病床・感染症病床は大阪府健康医療部調べ（令和5年6月30日時点）、DPCは令和3年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」
 ・「介護保険」・「その他」：大阪府福祉部調べ（令和5年4月1日時点、ただし、認知症高齢者グループホーム定員数及びサービス付き高齢者向け住宅の施設数は令和5年3月31日時点）

疾病・事業別の医療体制

【北河内圏域における精神疾患】

①地域連携拠点医療機関については、多様な精神疾患に対応するために、疾患ごとに定めており、別表の内容となる予定です。

②令和4年において、在院期間1年以上の患者数は、医療機関では730人で、入院患者の54.5%を占めています。

退院阻害要因では、「住まいの確保が出来ない」が49.0%と府平均33.1%を大きく上回っています

(出典 大阪府「精神科在院患者調査報告書」)。

①別表

疾病名	統合失調症	認知症	児童・思春期精神疾患	うつ	PTSD	アルコール依存症	薬物依存症	ギャンブル等依存症	てんかん	高次脳機能障がい①*	高次脳機能障がい②*	高次脳機能障がい③*	高次脳機能障がい④*	高次脳機能障がい⑤*	摂食障がい	発達障がい（成人）	妊産婦のメンタルヘルス	災害医療
施設数	9	6	3	3	2	1	1	2	4	1	1	1	4	4	0	5	4	4

* ①：国基準診断 ②：診断書作成 ③：リハビリ対応 ④：精神症状対応可能（入院） ⑤：精神症状対応可能（通院）

地域連携拠点一覧(R6.4.1~)

【北河内二次医療圏】

※児童・思春期については、対応可能な最少年齢を記載

No	所在地	医療機関名	統合失調症	認知症	児童・思春期	うつ	PTSD	アルコール	薬物	ギャンブル等	てんかん	高次脳①	高次脳②	高次脳③	高次脳④	高次脳⑤	摂食	成人発達	妊産婦	災害
1	守口市	医療法人西浦会京阪病院	○	○											○	○				○
2	守口市	学校法人関西医科大学関西医科大学総合医療センター	○																○	
3	枚方市	東香里病院	○	○								○	○	○	○	○				○
4	枚方市	医療法人亀廣記念医学会関西記念病院	○	○		○														
5	枚方市	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター	○		0~			○	○	○										○
6	枚方市	ポーボット・メディカル・クリニック				○	○											○		
7	枚方市	関西医科大学附属病院									○									
8	寝屋川市	医療法人長尾会ねや川サナトリウム	○	○	6~					○	○				○	○		○	○	○
9	寝屋川市	医療法人三家クリニック	○		6~	○	○											○	○	
10	寝屋川市	安原こどもクリニック									○							○		
11	大東市	医療法人楠朋会田川くすの木クリニック	○	○																○
12	四條畷市	医療法人和幸会阪奈サナトリウム	○	○											○	○				
13	交野市	医療法人長尾会ながお心療内科									○							○		
医療機関合計			9	6	3	3	2	1	1	2	4	1	1	1	4	4	0	5	4	4

北河内二次医療圏における今後の取組（方向性）

多様な精神疾患に対応できる医療体制の整備に向け、北河内精神医療懇話会を継続して実施し、各医療機関における機能の明確化に向けた情報交換を行うとともに、医療の充実と連携体制の構築を図ります。

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築については、保健所圏域や市の自立支援協議会等の協議の場等において、精神科病院長期入院者の地域移行も含めた課題について検討します。